

活動報告書

リコー社会貢献クラブ・FreeWill 御中

ご支援いただきました寄付の使途および効果について報告いたします。

報告日（西暦）： 2016年 4月 6日

団体名： NPO法人日本ホスピタル・クラウン協会

寄付金受領年月： 2016年 1月 29日
（西暦）

使途概要： クラウンを一人派遣するのに ¥25,000円と別途交通費がかかります。ホスピタル・クラウン活動では、二人一組での活動にしています。そのため、一回の派遣では、最低2名の派遣となります。ご支援金につきましては、デモンストレーションが主な使途になります。クラウン2名での通常訪問（病棟内のベッドサイド訪問）を前提として活動を見てもらいます。短いショーを行った後に、その場に集まれなかった子ども達のところを訪問する形をとる場合もあります。

（¥25,000円×2+交通費実費）

*ただし、デモンストレーションの場合は、いろいろな質問にも答えることができるようなスキルの高いクラウンを派遣します。そのため、遠方の地域でも、名古屋、東京から訪問することも多く、交通費がかさむ場合があります。

クラウン養成に関する研修費

トレーナー、試験官が遠方の研修クラウンの訪問病院へ同行する際の交通費

例えば、名古屋→沖縄、名古屋→愛媛、東京→金沢 など

効果： まだ、認定クラウンや訪問病院のない地域にクラウンを養成した訪問病院にてデモンストレーションを行うことで、定期訪問につながる結果となりました。

その後も名古屋や東京からトレーナーとなるクラウンを派遣しより質の高いクラウンを各地域に生み出す活動を継続して行っています。

このことで多くの地域の病院に入院中の子ども達や親御さんに笑顔を届ける活動が拡がりたくさんの方々により良い入院生活を送ることが出来る結果につながりました。

また、賛助会員イベントを開催し多くの方に活動を知って頂き、認定クラウン養成に定期訪問病院拡大に役立てることが出来ました。

詳細内容

: 2月13日：秋田賛助会員イベントより反省・感想（抜粋）

場所：アトリオン秋田 B1 C 会議室

参加者：26名

クラウン：K

- ・会場装飾のパネルや写真は非常に良かったです。
- ・販売ができなかった。ピンバッチも売りがたかったです。
- ・テントサーカスの動画。開会。10周年DVD。パフォーマンス。未来シアター。活動報告。バルーン。講座説明。意見交換。
- ・中通病院のH先生が声をかけてくれ、ドクターも来てくれました。（師長・保育士・元患者・患者の家族）
- ・ポーラのSさんが、たくさん声をかけて集めてくれました。
- ・子どもが多く、少し騒がしくなったが、その分温かい会になりました。



2月21日：桜木公営住宅訪問より反省・感想（抜粋）

対象 公営住宅入居者 約70名

クラウン K ダウザー 2名、
フー（コーディネーター）

昨年夏、「小さなテントサーカス」を受け入れてくれた場所。自治会が機能しており、NHKの取材に対し、好意的に話が進み、パフォーマンスに、餅付き大会を付けて行われました。想像以上に、喜んでいただけ、帰りにお餅をいただいた。被災者の方たちの思い、悩みを直に聞き、現状を知ることができました。まだまだ、協会のできることがあると感じました。ホスピタル・クラウン研修生のダウザーが参加し研修を兼ねたショーを行いました。

